



平成 21 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 L T T バイオファーマ
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 巖
(コード番号 4 5 6 6 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役研究開発本部長 新居 泰
(T E L 0 3 - 5 7 3 3 - 7 3 9 1)

主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社の主要株主である筆頭株主に異動が生じる見込みとなりましたので、下記の通りにお知らせいたします。

記

1. 異動が生じる経緯

破産手続き中の当社の主要株主である筆頭株主齋藤栄功氏の破産管財人が管理する当社株式について、大量保有報告書が提出されたことにより、当社と医薬品の研究開発等において協力関係にある北京泰徳製薬有限公司が、当該株式の全てを取得したことを確認したため、主要株主である筆頭株主に異動が生じることが判明いたしました。

2. 当該株主の概要

① 新たに主要株主である筆頭株主となるもの

名 称	北京泰徳製薬有限公司
本 店 所 在 地	北京市北京経済技術開発区栄京東街 8 号
代 表 者	董事長 謝炳
主 な 事 業 内 容	医薬品製造・販売

② 主要株主である筆頭株主でなくなるもの

氏 名	齋藤 栄功 破産管財人
住 所	東京都中央区銀座 1 - 8 - 21

尚、上記①②の異動の他に、株式会社アスクレピオスの破産管財人が管理する当社株式 2,320 株（発行済株式総数に対する割合 1.75%）につきましても、北京泰徳製薬有限公司が、その全株式を取得する旨の報告を受けております。

3. 異動前後における当該株主の所有議決権数（所有株式数）とその議決権総数（発行済株式総数）に対する割合

① 北京泰徳製薬有限公司

	所有議決権数 (所有株式数)	総株主の議決権数に対する割合 (発行済株式総数に対する割合)	大株主順位
異動前	0個 (0株)	—% (—%)	—
異動後	25,320個 (25,320株)	19.20% (19.20%)	第1位

② 齋藤 栄功 破産管財人

	所有議決権数 (所有株式数)	総株主の議決権数に対する割合 (発行済株式総数に対する割合)	大株主順位
異動前	23,000個 (23,000株)	17.75% (17.44%)	第1位
異動後	0個 (0株)	—% (—%)	—

※ 異動前の総株主の議決権数に対する割合は、平成20年9月30日（第7期第2四半期末）における議決権総数129,548個より算出しております。

※ 異動後の総株主の議決権数に対する割合は、平成20年9月30日（第7期第2四半期末）における議決権総数に、株式会社アスクレピオスからの異動見込みによって増加する議決権個数2,320個を加えた、131,868個にて算出しております。

※ 異動前後の発行済株式総数に対する割合は、平成20年12月31日（第7期第3四半期末）における発行済株式総数131,868株より算出しております。

4. 異動年月日 平成21年6月中旬（予定）

5. 今後の見通し

当該株式譲渡は、中華人民共和国法に基づく外貨送金の所要時間を鑑み、決済完了までに最大で2ヶ月を要する見込みであります。また、本日、北京泰徳製薬有限公司への当社株式異動完了の時をもって発効する、同社との医薬品・医療機器分野の研究開発における相互発展を目的とした、資本・業務提携について決議いたしております。詳しくは、本日付で別途公表いたしました「北京泰徳製薬有限公司との資本・業務提携に関するお知らせ」をご覧ください。

【ご参考】北京泰徳製薬有限公司について

北京泰徳製薬有限公司は、1995年5月、中日友好医院（中国北京市）と当社との合併により設立されました。中国において、当社が開発したDDS製剤（商品名／凱時（カイシ）：大正製薬パルクス同等品）の製造・販売を手掛け、2004年には中国国内第4位の売上を記録しました。（日本製薬工業協会：アジアビジネスハンドブック2006年3月より）

また、2006年に同じく当社が開発したDDS製剤（商品名／凱紛（カイフェン）：科研製薬ロピオン同等品）を発売するなど収益を伸ばすとともに、2007年には、無菌医薬品の製造及び品質管理において、日本国内製造業者と同等の基準を満たし、厚生労働大臣が日本への医薬品輸出を認めた外国製造業者であることを証明するGMP（Good

Manufacturing Practice) に認定されております (認定番号 : AG10500180)。

承認審査を行う独立行政法人医薬品医療機器総合機構の発表によると、2009年3月19日現在、中華人民共和国内において当該認定を受けて活動する医薬品製造業者は、同社を含め僅か11社のみとされており、こうした着実な発展を背景に、Forbes (中国版) の2009年1月号では、中国の成長企業200社の第90位に紹介されております。

現在当社では、北京泰徳製薬有限公司の発行済株式12%を保有しており、PC-SOD等のパイプラインの研究開発についても協力関係にあるなど、従前より良好なパートナーシップを築いて参りました。

以上